平成３０年度

事　業　計　画　書

収　支　予　算　書

自 平成３０年　４月　１日

至 平成３１年　３月３１日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

平成30年度事業計画書

■　基本方針

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機に、全ての人が共に生活できる社会の実現を加速させるため、展覧会および舞台芸術公演等を開催し、これら事業の実施を通じて多様な価値観や生き方があることを伝え、それぞれの個性を祝い、支えあう社会のあり方を探り、人々の固定観念を変える契機となることに寄与することを目的として事業を行う。

■　障害者の芸術活動に関わる展覧会の運営及び情報発信

1.　目的・目標

障害者による表現活動を展覧会、Ｗｅｂ、紙媒体、公募事業等を通じて周知し、それをきっかけに障害者への理解を高め、より良い在り方や新たな関係性や試みを生み出し、多様な個性を祝うインクルーシブな社会の実現を目指すことを目的とする。

本事業の推進により、1)障害がある人が製作するアート作品及び「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS」の取り組みに対する認知拡大を促進し、2)展覧会等の実施や情報発信を通じて障害福祉に関わる意識変革を推進し、3)障害がある人自身が自己の可能性を見出し、自己実現の可能性を高める一助となり、4)2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を図ることを目指す。

2.　事業内容

a.　「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS展2020(仮称)」告知イベントの開催

- 会期　2018年　9月13日㈭　～　2018年　9月17日㈪　　５日間
- 場所　渋谷ヒカリエ　８/ＣＯＵＲＴ
- 対象　6,000名(一般)
- 内容　企画展、イベント、ワークショップ

※SHIBUYA INNOVATION WEEKの関連イベントとして開催

b.　「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS展2020(仮称)」の準備

- 展覧会の方針の検討、決定
- 作家、作品のリサーチ及び選定、作品制作の実施
- 会場構成プランの検討
- 障害者が主導する鑑賞プログラムの検討
- テクノロジー技術を用いた鑑賞アプリの開発
- 展覧会に関わる人材の育成
- 広報物の制作

c.　「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 2018」の開催

(1) 作品の募集及び審査
- 期間　2018 年 7 月～10 月
- 会場　大阪府(予定)
- 対象　国内外の障害のある方

(2) 公募展の開催
- 期間　2019 年 5 月
- 会場　東京都及び神奈川県(予定)
- 内容　受賞作品の展示、鑑賞ワークショップの実施

(3) その他
- 授賞式の開催
- 広報物の制作、発送

d.　情報発信

- Web メディアによる情報発信
  Web サイト「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を運営し、実施事業の告知、障害者芸術や作者を取り巻く環境、イノベーションを取材し、情報を発信する。
- ソーシャルメディアの活用
  Instagram、Facebook 等ソーシャルメディアと Web サイトを連動させ、実施事業の周知を促す。
- 紙媒体による情報発信
  「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」を年 3 回程度のペースで発行し、障害者芸術や作者を取り巻く環境、イノベーションを発信する。

■　2020 年国際障害者舞台芸術際(仮称)の開催準備

1.　目的・目標

障害の有無、国籍、言語、性別、世代の異なる多様な文化と人による「2020 年国際障害者舞台芸術祭(仮称)」では、新しい文化芸術の創造と表現を通じて、誰もが舞台芸術活動に参加できる環境づくりを構築し、2020 年以降も障害のある人が活躍できる場を広げ、多様な人が共に生きる社会の実現を目的とする。

2018 年度は、芸術祭の準備年として、1) トップ・アーティストの発掘と育成事業、2) 芸術祭を周知するための国際フォーラムの開催、3) 世界の選りすぐりの舞台芸術作品の上演、作品の共同制作、4) 舞台鑑賞サポートプログラムの開発を通じて、5) 幅広く情報を発信していくことを目指す。

2.　事業内容

a.　トップ･アーティストの調査、発掘と育成

- 時期　2018 年 4 月～2019 年 3 月

・ 場所　東京、大阪等
・ 内容　国内のトップ・アーティスト候補となる人材の発掘ワークショップとトレーニングの提供

b.　**芸術祭プレプログラムの実施**

・ 時期　2018 年 11 月～2019 年 3 月
・ 場所　東京、関西他
・ 内容　1) 国際フォーラム
　　　　2) 演劇公演
　　　　3) ダンス公演

c.　**舞台鑑賞サポートプログラム**

多言語対応字幕、音声ガイド等の鑑賞プログラムの研究開発と実践

d.　**情報発信**

ホームページ、情報誌による発信、動画制作等を行う。

日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 収支予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

収入の部		支出の部	
事業活動収入		事業活動支出	
1. 事業活動収入	460,570,000	1. 事業活動支出	379,228,000
基本財産運用収入		障害者の芸術活動に関わる展覧会の運営及び情報発信	*42,250,000*
助成金収入計	458,530,000	「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS展2020(仮称)」の開催に向けた準備及び関連企画の実施	*74,830,000*
障害者の芸術活動に関わる展覧会の運営及び情報発信	*92,950,000*	障害者のアート作品を展示する公募展の開催	*43,270,000*
「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS展2020(仮称)」の開催に向けた準備及び関連企画の実施	*74,830,000*	2020年国際障害者舞台芸術際(仮称)の開催準備	*218,878,000*
障害者のアート作品を展示する公募展の開催	*43,270,000*	2. 管理費支出	81,342,000
2020年国際障害者舞台芸術際(仮称)の開催準備	*247,480,000*		
入場料収入	2,040,000	3. 予備費支出	0
2. 投資活動収入	0		
当期収入合計	460,570,000	当期支出合計	460,570,000
前期繰越収支差額	1,982,388	当期収支差額	0
収入合計	462,552,388	次期繰越収支差額	1,982,388